

初詣 節分 ひな祭り お花見 端午の節供、
衣替え 土用 お盆 お月見 神無月
酉の市 おことはじめ

12ヵ月でたどる季節の伝統行事

春夏秋冬の 年中行事

日本の
暮らしと伝統

2025年
12月発売

新谷尚紀著

定価2640円
(10%税込)

A5判・並製・カバー装・264頁
978-4-642-08486-1

春夏秋冬の
年中行事

日本の
暮らしと伝統

初詣、節分、ひな祭り、お花見、端午の節供、
衣替え、土用、お盆、お月見、神無月、
酉の市、おことはじめ…。

12ヵ月でたどる
季節の伝統行事

吉川弘文館
定価(本体2,400円+税)

初詣・端午の節供・お月見・煤^{すす}払い…。古来、日本では季節に応じたさまざまな年中行事が営まれてきた。春夏秋冬、月ごとの伝統行事のはじまりと時代にもなう変化を、全国各地の事例を紹介しながらたどり、いまでも私たちの暮らしに息づくすがたを描く。歴史の中に培われ、生活を豊かにする知恵と技能が詰まった伝統としきたりをやさしく解説する。

吉川弘文館

著者紹介

新谷尚紀 (しんたに たかのり)

1948年、広島県生まれ
1981年、早稲田大学大学院史学専攻博士
後期課程単位取得退学
1998年、社会学博士(慶應義塾大学)
現在、国立歴史民俗博物館名誉教授、
総合研究大学院大学名誉教授

【主要著書】

『伊勢神宮と出雲大社』(講談社、2009年)、『お葬式』(吉川弘文館、2009年)、『民俗学とは何か』(吉川弘文館、2011年)、『葬式は誰がするのか』(吉川弘文館、2015年)、『神社の起源と歴史』(吉川弘文館、2021年)、『遠野物語と柳田國男』(吉川弘文館、2022年)、『政治の米・経済の米・文化の米』(山川出版社、2025年)

主な内容

はじめに
年中行事／歳時記

序 暦と年中行事

自然暦と人工暦

一年・一月・一日／閏月と二十四節気／
暦の歴史／西洋暦の採用

月の満ち欠けと一年両分

月の満ち欠けと上弦・下弦／一年両分

第一章 正月とその意味

正月は年取り

米と餅

年神の信仰

正月料理

小正月は豊穣祈願

小正月の予祝行事

小正月の習俗

第二章 春から夏への行事

二月の行事―節分と豊穣祈願

節分

初午と稲荷

田遊び

三月の行事―ひな祭り与人形

ひな祭り

曲水の宴

彼岸

四月の行事―桜と日本人

花見

卯月八日

五月の行事

―端午の節供と田植え

端午節供

田植え

虫送り



鯉のぼり 鯉河合より
(歌川広重「名所江戸百景」)
水道橋鯉河合 国立国会図書館
デジタルコレクション



役 鬼
(『新訂増補 国史大系28 政事要略』より)



【類聚維要抄】より鏡餅
(東京国立博物館所蔵／出典: ColBase)

六月の行事―梅雨と祓えの思想

衣替え

梅雨

夏越の祓え

第三章 秋から冬への行事

七月の行事

―七夕の歴史と民俗

七夕

土用

中元

八月の行事

―死者を迎える盆

お盆

八朔

九月の行事―台風と月見

二百十日と台風

重陽の節供

月見

敬老の日

十月の行事―動く神々

神無月と神在祭

スポーツの秋

十一月の行事

―稲の神聖な儀式

新嘗祭

七五三

西の市

十二月の行事―新しい年へ

冬至

笑い講

煤払い

コト八日

おことはじめ



商家の煤払い「東京歳時記」冬の部
(国立国会図書館デジタルコレクション)



たなばたの真菰馬(群馬県館林市)
(『日本民俗大辞典』下巻より)



吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷 7-2-8 [URL] <https://www.yoshikawa-k.co.jp/>
電話 03-3813-9151(代表) / FAX 03-3812-3544 / 振替 00100-5-244

'25.12



キリトリ線

注文書

『春夏秋冬の年中行事』を(冊)注文します。

978-4-642-08486-4

お名前

お電話

ご住所 〒

●吉川弘文館 特約書店名